東北研究室

1．はじめに

東北研究室は、中枢都市・仙台を中心に、地域に根ざし、土地利用、交通、地域振興、環境の各分野を対象とした調査、分析、計画立案、政策・事業評価等の業務を行っています。

地域の大学・経済界・NPO 等と連携し、東日本大震災を踏まえつつ、地域社会を創造するための計画・政策技術の開発に取り組んでいます。

2．主な研究活動

(1) 人口減少社会・低炭素社会に向けた都市構造、交通政策の調査研究

人口減少社会、低炭素社会に向けて、必要となる政策の方向性を見出すことが急務となっています。

東北研究室では、土地利用に応じて人の交通行動をシミュレーションする政策評価ツールを活用して、都市政策や交通施策が環境に及ぼす影響を分析しつつ、客観的評価を通じて、地域形成を支援する政策立案の調査研究活動に取り組んでいます。

(2) 社会資本が社会・経済に及ぼす影響の調査研究

道路などの交通ネットワークの整備は、社会・経済の様々な面に影響を及ぼします。

東北研究室では、応用一般均衡分析などの科学的アプローチにより、東北地方で計画・構想されている道路ネットワーク整備が、人口、雇用、生産額、所得などに及ぼす影響を定量的に計測し、客観的評価を通じて、限られた財源の中で如何に社会資本整備を適切に行うべきか、研究･提案を行っています。

また、ネットワークの維持・管理も重要なテーマであり、通行止めなどによる影響分析を行うなど、広範な視点から交通ネットワークの調査研究を行っています。

(3) 様々なニーズに対応した政策立案

東北地方には､個性豊かな地域が存在しています。

東北研究室では、地域の個性を活かしつつ、地域ニーズに対応するために、住民・企業の声を反映した協働型まちづくりに取り組んでいます。

また、東日本大震災を踏まえ、地域の現状に関わる情報を収集し、復興に関わる調査活動を行っています。

3．主な研究テーマ

(1) 人口減少社会・低炭素社会に向けた都市構造、交通政策の調査研究

・総合交通体系調査と都市計画マスタープランの連携に係わる調査研究
・人の交通行動パターンを反映した需要予測モデルの開発
・土地利用交通モデル等の政策ツールを活かした都市圏構造・生活圏の調査研究
・低炭素都市づくりに向けた政策評価の調査研究
・地方都市圏のパーソントリップ調査、戦略などの策定調査
・コンパクトシティを支える地域連携に関わる調査

(2) 社会資本が社会・経済に及ぼす影響の調査研究

・道路ネットワーク整備の経済評価分析に係わる調査研究
・鉄道整備の経済評価分析に係わる調査研究
・道路の冬季通行止めによる影響分析の調査研究

(3) 様々な地域ニーズに対応した交通政策の立案

・高速道路の利用促進に向けた調査
・観光まちづくりに係わる調査
・公共交通利用促進に向けた調査
・都市計画道路などの都市施設に係わる調査